

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 26 日

愛知県知事 殿

提出者 株式会社スウェーデンハウス 名古屋支店
住 所 名古屋市中区栄4-14-31 栄オーフィス7F

氏 名 山崎 修

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 052-243-1280

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社スウェーデンハウス 名古屋支店
事業場の所在地	名古屋市中区栄4-14-31 栄オーフィス7F
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	新築工事売上金額18.77億円
③従業員数	82名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場 ↓ 中間処理 ↓ 最終処分

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

《本社》

工事部 部長 (産業廃棄物処理総括責任者)

《支店》

支店長 (産業廃棄物管理責任者)

支店次長(工事担当) (産業廃棄物処理責任者)

支店管理グループ グループリーダー (事務局)

協力会社

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項(新築工事)

【前年度（令和4年度）実績】		
① 現状	産業廃棄物の種類	—
	排 出 量	1002.56 t
(これまでに実施した取組)		
② 計画	・外壁のパネル化による現場作業の削減。 ・現場での分別の徹底。	
	【目標】	
② 計画	産業廃棄物の種類	※別紙「本年度の計画」のとおり
	排 出 量	
(今後実施する予定の取組)		
② 計画	・内壁のパネル化の導入による現場作業の削減。 ・適正数量の部材の払い出し及び納入をし、現場での産業廃棄物の削減を図る。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建築現場の敷地条件により異なりますが、基本的に9品目(木くず、廃プラスチック類、ダンボール、石膏ボード、金属くず、ガラス・陶磁器類、がれき類)に分別を実施している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 -		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	-	-
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】 -		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	-	-
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 -		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	-	-
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】 -		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	-	-
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への 処理委託量		
	再生利用業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		

(これまでに実施した取組)

- ・外壁のパネル化による現場作業の削減。
- ・現場での分別の徹底。

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への 処理委託量	
	再生利用業者への 処理委託量	※別紙「本年度の計画」のとおり
	認定熱回収業者への 処理委託量	
※事務処理欄	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
	(今後実施する予定の取組) ・内壁のパネル化の導入による現場作業の削減。	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 本年度の計画(令和 5 年度)

「様式第二号の八 産業廃棄物処理計画書」の添付資料

本年度の計画(令和5年度)

(産業廃棄物の種類：コンクリートがら)

有 傷 物 量
不要物等発生量

不要物等発生量

②
0

排 出 量

①
115.17

自ら直接理立処分した量

③
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

項目

実績値

①排出量
115.17

自ら中間処理
した量

④
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

項目

実績値

②+⑧自ら再生利用を行った量
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量

⑩
0

項目

実績値

③+⑨自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑪
115.17

自ら中間処理した後
業者への処理委託量

⑫
115.17

項目

実績値

④のうち熱回収
を行った量
0

自ら中間処理した後
業者への処理委託量

⑬
0

自ら中間処理した後
業者への処理委託量

⑭
0

項目

実績値

⑤
0

自ら中間処理した後
業者への処理委託量

⑮
0

自ら中間処理した後
業者への処理委託量

⑯
0

(第2面)

本年度の計画(令和5年度)

(産業廃棄物の種類：アスコンがら)

有 傷 物 量	
---------	--

不要物等発生量	
---------	--

自ら直接 再生利用した量	② 0
-----------------	-----

排 出 量	① 0.00
-------	--------

自ら中間処理 した量	④ 0
---------------	-----

項目	実績値
①排出量	0.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑥ 0
⑦自ら中間処理により減量した量	⑦ 0
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧ 0
----------------------	-----

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨ 0
------------------------------------	-----

自ら中間処理した後 直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑩ 0.00
--	--------

⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑪ 0
-----------------------------	-----

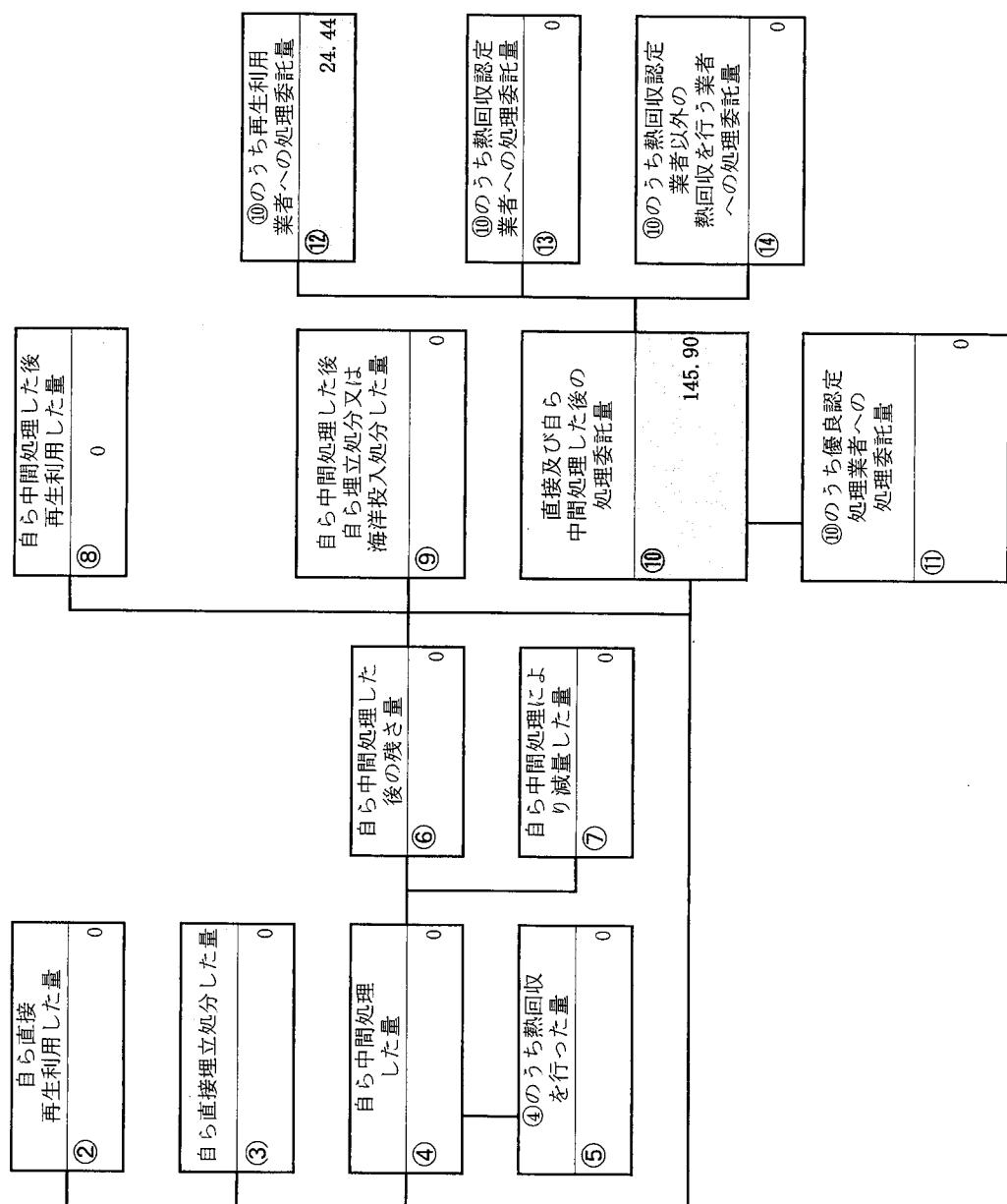
⑫のうち再生利用 業者への処理委託量	⑫ 0.00
-----------------------	--------

(第2面)

本年度の計画(令和5年度)

(産業廃棄物の種類：がれき類)

有 債 物 量		不 物 等 発 生 量		排 出 量	
項目	実績値	項目	実績値	項目	実績値
①排出量	145.90	①排出量	145.90	①排出量	145.90
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	②+⑨自ら埋立処分又は海洋投げ处分を行った量	0	②+⑨自ら埋立処分又は海洋投げ处分を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	⑦自ら中間処理により減量した量	0	⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑩全処理委託量	145.90	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	24.44	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0				



(第2面)

本年度の計画(令和5年度)

(産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず)

有 債 物 量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

② 0

排 出 量

① 62.69

自ら直接埋立処分した量

③ 0

項目 実績値

62.69

自ら中間処理
した量

④ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理
した後
の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理
により減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑫ 11.55

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑪ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑭ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑮ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑯ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑰ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑲ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑳ 0

(第2面)

本年度の計画(令和5年度)

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

有 傷 物 量
不要物等発生量

不	要	物	等	発	生	量
---	---	---	---	---	---	---

自ら直接 再生利用した量
② 0

排 出 量
① 67.27

自ら直接埋立処分した量
③ 0

項目	実績値
①排出量	67.27
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全處理委託量	67.27
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	56.36
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の処理委託量	0

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑧ 0

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量
⑨ 0

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量
⑩ 56.36

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量
⑪ 67.27

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量
⑫ 0

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量
⑬ 0

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量
⑭ 0

(第2面)

本年度の計画(令和5年度)

(産業廃棄物の種類：金属くず)

有 債 物 量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量

排 出 量

自ら直接埋立処分した量

項目	実績値
①排出量	3.51
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全處理委託量	3.51
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	3.51
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧ 0
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨ 0
自ら中間処理した 後の中間処理による 減量した量	⑦ 0
自ら中間処理した後 直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑪ 3.51
⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑯ 0
⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑰ 0
⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑲ 0
⑫のうち再生利用 業者への処理 委託量	⑳ 0
⑬のうち熱回収認定 業者への処理 委託量	㉑ 0

(第2面)

本年度の計画(令和5年度)

(産業廃棄物の種類：混合廃棄物)

有 債 物 量

不要物等発生量

排 出 量
(1) 194.89

自ら直接 再生利用した量
(2) 0

自ら中間処理した後 再生利用した量
(8) 0

項目	実績値	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	直接及び自ら中間処理した後の 処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の 業者への処理委託量	⑪のうち熱回収認定業者への 処理委託量
①排出量	194.89	0	0	0	0	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0	0	0	0	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0	0	0	0	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	0	0	0	0
⑩全処理委託量	194.89	0	0	0	0	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
⑫再生利用業者への処理委託量	149.87	0	0	0	0	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
⑭熱回収認定業者以外の処理委託量	0	0	0	0	0	0

(表 2面)

自ら中間処理した後 再生利用した量	(8) 0
自ら直接埋立処分した量	(3) 0
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	(9) 0
自ら中間処理した 後の残さ量	(6) 0
④のうち熱回収 を行った量	(5) 0
自ら中間処理により減量した量	(7) 0
直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	(10) 194.89
⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	(12) 149.87
⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	(13) 0
⑫のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	(14) 0

本年度の計画(令和5年度)

(産業廃棄物の種類：紙くず)

有 債 物 量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量

排 出 量

自ら直接埋立処分した量

項目	実績値
①排出量	81.54
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全處理委託量	81.54
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	81.54
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した後 再生利用した量

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量

自ら中間処理した 後の残さ量

直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量

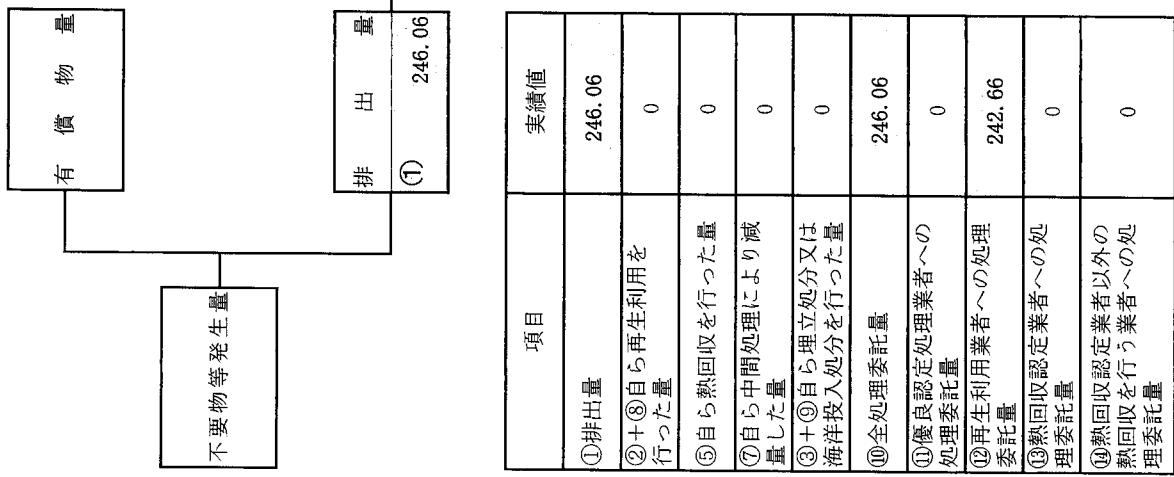
⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量

⑫のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量

(第2面)

本年度の計画(令和5年度)

(産業廃棄物の種類：木くず)



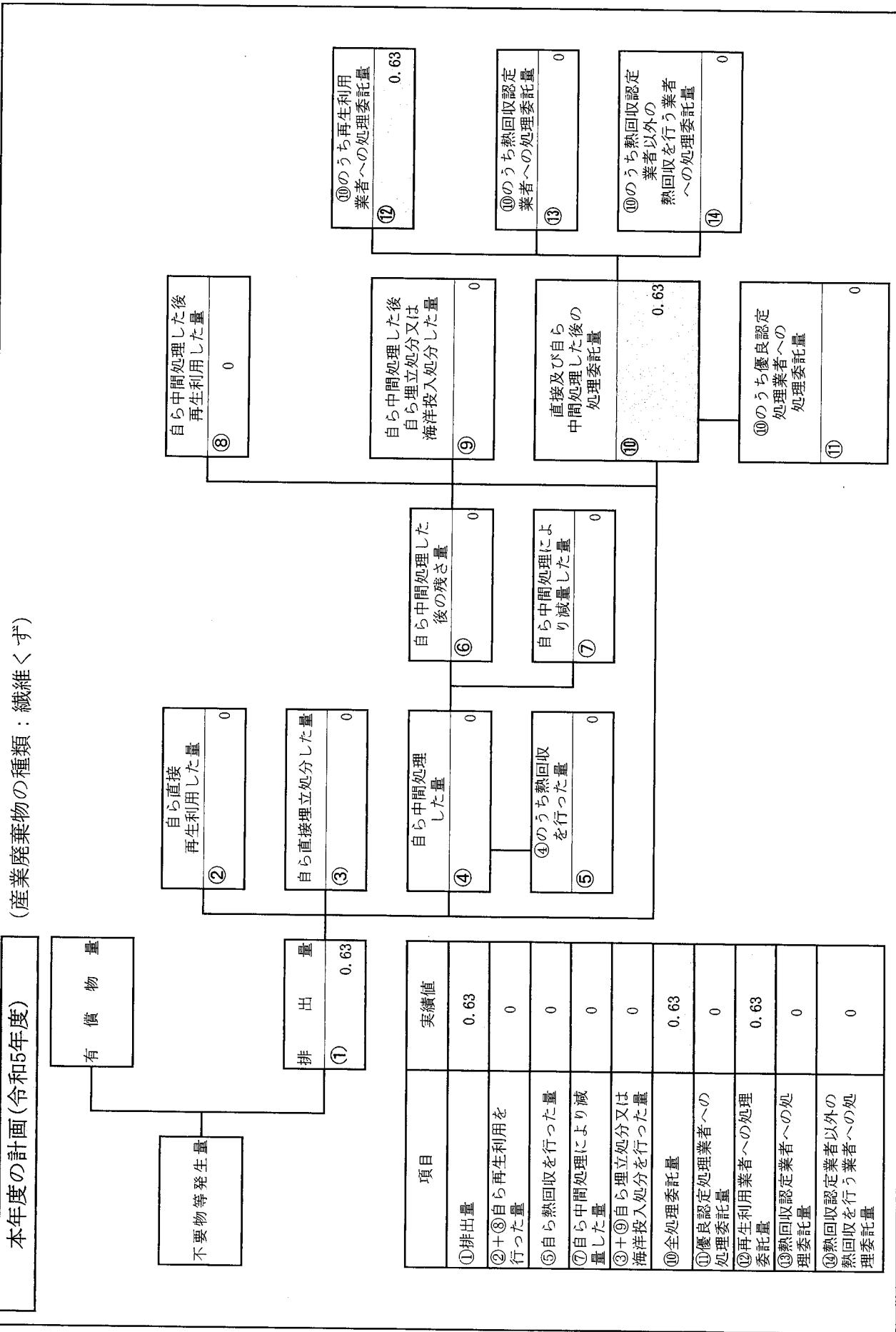
②	0	自ら直接 再生利用した量
③	0	自ら直接埋立処分した量
④	0	自ら中間処理 した量
⑤	0	④のうち熱回収 を行った量
⑥	0	自ら中間処理した 後の残さ量
⑦	0	自ら中間処理によ り減量した量
⑧	0	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑨	0	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量
⑩	246.06	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量
⑪	0	⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量

(第2面)

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海上投入処分した量	0	⑨
直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	246.06	⑩
⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0	⑪
⑫のうち熱回収認定 業者への処理委託量	242.66	⑫
⑬のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0	⑬
⑭のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	0	⑭
⑮のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	0	⑮

本年度の計画(令和5年度)

(産業廃棄物の種類：纖維くず)



本年度の計画(令和5年度)

(産業廃棄物の種類：石膏ボード)

有 備 物 量

不要物等発生量

排 出 量

自ら直接埋立処分した量

自ら直接利用した量

項目 実績値

①排出量	49.28
------	-------

②+⑧自ら再生利用を行った量	0
----------------	---

⑤自ら熱回収を行った量	0
-------------	---

⑦自ら中間処理により減量した量	0
-----------------	---

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
------------------------	---

⑩全処理委託量	49.28
---------	-------

⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
------------------	---

⑫再生利用業者への処理委託量	0
----------------	---

⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
-----------------	---

(第2面)

本年度の計画(令和5年度)

(産業廃棄物の種類：石綿含有産業廃棄物)

有 傷 物 量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量

② 0

排 出 量

自ら直接理立処分した量

③ 0

項目	実績値	項目	実績値
①排出量	5.55	②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	⑥自ら中間処理した後の残さ量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	⑧自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	⑨自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑩全処理委託量	5.55	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	⑪のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0	⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0	⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量	0

自ら中間処理した後 再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 0

自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量

⑨ 0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0

⑪のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量

⑭ 0

(第2面)